

ノリ養殖情報（第9報）

令和 6年12月12日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今年度の調査は、10月中旬から3月下旬までの期間に、陸上調査を17回、海上調査を6回の合計23回予定しています。
- 今回の調査は〔海上〕調査です。

1. 調査結果

調査日：12月9日(月) 天候：くもり 気温：10.6 (12:48 時点)

(今回(12/9)の水温等の測定時間帯 12:50～14:19)

(前回(12/2)の水温等の測定時間帯 2:48～4:33)

調査点		水温		比重 σ ₁₅	栄養塩：無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 12月2日	今回	今回	前回 12月2日	今回	アカ	ツボ
1. 神代	支柱	13.1	14.8	22.4	1.3	4.4	5.9	なし	なし
2. 仲よし下	支柱	14.7	15.1	23.1	5.0	9.0	13.9	なし	なし
3. 半田	ベタ	16.9	15.6	23.8	2.1	15.2	8.8	なし	なし
4. 三会	ベタ	16.7	15.7	23.5	2.4	10.3	10.8	なし	なし

栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

●主な植物プランクトン (単位:細胞/mL)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻		
	スケルトネマ属	キートセロス属	クラシオネマ属
1. 神代	113	935	82
2. 仲よし下	211	3,425	131
3. 半田	63	2,506	71
4. 三会	35	2,412	245

- 調査結果概要

- ・水温は、13.1 ～ 16.9 。 海水比重 (σ_{15}) は、22.4 ～ 23.8。
- ・栄養塩は、1.3 ～ 5.0 $\mu\text{g-at/L}$ で、4観測点全てでノリ養殖における期待値7.0 $\mu\text{g-at/L}$ を下回りました。
- ・植物プランクトンは、キートセロス属 (最高3,425細胞/mL) が優占していました。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県: 筑後川河口域および川副町地先の海域でキートセロス属、筑後川河口域から白石町地先にかけての海域でギムノによる着色域が確認されました(12月9日)。
- 福岡県: 有明海福岡県海域で珪藻のキートセロス属と渦鞭毛藻のアカシオサングイネアによる着色域が確認されました(12月9日)。

3. 他県の情報

- 佐賀県: 全地区でノリの色調低下が見られました。アカは、22点中8点(うち顕微鏡レベル7点、肉眼視レベル1点)で確認されました。ツボは確認されませんでした(12月10日)。
- 福岡県: 現在、2～3回目の摘採が行われています。アカは3調査点で確認され、大量感染が1点、軽度が2点でした(いずれも顕微鏡サイズ)。色落ちは15調査点で確認され、重度が3点、中度が3点、軽度が9点でした(12月9日)。
- 熊本県: 初摘採が各漁場で行われており、2回摘みの一部が行われています。アカ・ツボの感染は見られませんでした(12月10日)。

4. 本県の情報

- 摘採が始まりました。
- ノリ網の検鏡結果
 - ・4地点全てで病害は確認されませんでした。
 - ・一部の葉体で波縮や死細胞が見られました。
 - ・付着珪藻はリクモフォラが見られました。
 - ・葉長は21.3 ～ 170.2mmの範囲で、平均は34.2 ～ 133.3mmでした。